

# Himeji City Museum of Art COLLECTION EXHIBITION

## 郷土の洋画家たち

2018年  
8月22日(火)～9月15日(金)



尾田龍<石膏像のある静物>1950年 部分

三木翠山<祇園会>(右隻)1918年 部分



## 日本画の世界

2018年  
10月2日(火)～10月21日(日)

## ベルギー 近代美術名品選

2018年  
11月6日(火)～11月18日(日)



エミール・クラウス  
<フランドル地方の収穫>1904年頃 部分

藤原向意<祖先の木1>1963年 部分



## 美術作品の広がり

2019年  
1月6日(日)～1月19日(金)

[会場] 姫路市民ギャラリー特別展示室 イーグレひめじ地下1階  
(姫路市本町68-290)

[開室時間] 10:00～17:00 (月曜日休室)

観覧無料

[主催] 姫路市立美術館

姫路市立美術館は2018年8月1日から2019年2月末まで改修のため休館いたします。  
その間姫路市民ギャラリー特別展示室において、4回に分けて所蔵品を展示いたします。

## 郷土の洋画家たち

2018年8月22日(火)～9月15日(土)

明治時代から今日まで、姫路やその周辺の地域も洋画家を輩出しました。郷土に生まれ中央で活躍した画家もいれば、他の地域で生まれ、郷土にやってきた画家もいます。郷土に関係した画家の作品を中心に、所蔵品の洋画を紹介します。



尾田龍(石膏像のある静物) 1950年

## 日本画の世界

2018年10月2日(火)～10月21日(日)

日本画は主に和紙や絹の上に顔料を膠で溶いて描く伝統的絵画であり、油彩画とは異なる発色や絵肌、独特の情感が魅力です。近世から現代まで、



そして郷土ゆかりから日本画壇を代表する画家の作品まで、館蔵品より日本画の名品を紹介いたします。

三木翠山(祇園会)(右隻) 1918年

## ベルギー近代美術名品選

2018年11月6日(火)～11月18日(日)

ヨーロッパの交通の要衝の地として発展し、他国の影響を受けながら独自の美術を発展させてきたベルギー。本展ではベルギー印象派のエミール・クラウスから抽象表現主義のアレシンスキーまで、同国で制作された絵画や彫刻作品とともにその魅力に迫ります。

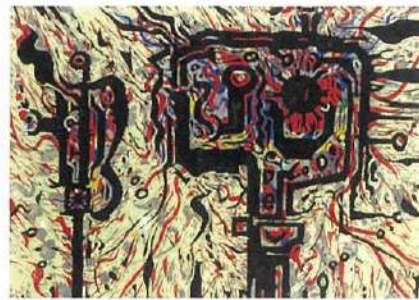


エミール・クラウス  
《フランドル地方の収穫》1904年頃

## 美術作品の広がり

2019年1月6日(日)～1月19日(土)

美術館の所蔵品の多くは油絵や版画といった技法で描かれています。しかし近年の作品はこの枠に留まらないものが多く見られます。また、油絵や



版画においても、新たな技法が生み出されています。所蔵品からさまざまな表現をさぐります。

藤原向意《祖先の木1》1963年

## information

改修期間中の美術館では、庭園アートプロジェクト「松井紫朗のセンス・オブ・ワンダー」の一環として、サイトスペシフィックな作品を展示します。



### センス・オブ・ワンダーの庭

[展示期間] 2018年8月26日(日)～12月2日(日)

[開場日] 月曜日(9月17日、24日、10月8日を除く)

および9月18日、25日、10月9日

[料金] 無料

● オープニング記念 アーティスト・トーク&スペシャル・ツアー

8月26日(日) 14:00～15:30

美術家・松井紫朗によるトークと、「センス・オブ・ワンダーの庭」の作品体験を行います。

● アーティスト・スペシャル・ツアー

8月31日(金) 15:00～16:00

松井紫朗と共に「センス・オブ・ワンダーの庭」の作品体験を行います。

● スペシャル・ツアー

9月2日(日) ①11:00～11:30 ②14:00～14:30

学芸員と共に「センス・オブ・ワンダーの庭」の作品体験を行います。

※いずれも事前の申込は不要です。

※開始時間までに動きやすい服装で直接美術館庭園南入口付近(動物園側)にお越しください。

### 所蔵品展示関連イベント[姫路市民ギャラリー]

● ジュニア姫路検定 「知ってナットク!洋画のみみつ」

8月25日(土)、9月8日(土) 10:30～

対象:小・中学生 ※申し込み不要

● ギャラリーツアー 会期中の毎土曜日11:00～

ボランティアによる作品解説を行います。

※参加自由 ※ただし8月25日(土)、9月8日(土)は13:00～



問い合わせ先



姫路市立美術館

Tel.079-222-2288  
(姫路市本町68-25)

<http://www.city.himeji.lg.jp/art.html>